

からたち



第 56 号
新春
2024.1

- p.2 新年のご挨拶
- p.3 部署紹介（手術室）
- p.4 栄養科より 寒い冬を乗り切ろう！！
- p.5 翠の会紹介
- p.6 「職員子どもの職場見学会」を実施しました！！
- p.7 着任医師紹介、読み放題スポット、ふくおか健康づくり団体・事業所宣言



「三柱神社」（撮影地 柳川市三橋町） 撮影者／総務企画課 近藤 亮介



一般財団法人 医療・介護・教育研究財団

柳川病院

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

- 患者さんに良質で安心な医療を提供します
- 医学・医療技術の研鑽に努め、最新の医療を提供します
- 地域福祉の向上と、疾病予防策を実践します
- 風通しの良い、明るく働きがいのある健全な職場を目指します

2024 新年のご挨拶



まず新年のご挨拶の前に、この元日の能登半島地震により被災されました皆さまに対して、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

あらためまして、新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は柳川病院の運営に対しまして、地域の皆さまはもとより、久留米大学をはじめとする各大学ならびに医師会をはじめとする各医療機関、さらに行政機関の皆さまには多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。

私は、昨年 6 月末に当財団の理事長に就任いたしました。

あらためて申し上げますが、当財団は「地域医療の確保と質の向上に寄与すること」を目的として平成 16 年に設立し 19 年目を迎えています。平成 17 年に、福岡県における精神科医療を担う福岡県立精神医療センター太宰府病院の指定管理者として選定され現在 2 期 20 年目を迎えるところです。そして当柳川病院は平成 19 年に福岡県から移譲を受けて以降これまで経営に携わっています。

就任しました 2023 年は、2020 年度から約 3 年間に亘る新型コロナウイルス感染症との闘いも感染症法上の位置づけが 5 類へと移行して、社会全体がアフターコロナに向けて大きく変わる節目となり忘れたくない年となりました。

当柳川病院では院内感染の防止を徹底しつつ新型コロナウイルス

理事長

古川 英博



ルス感染者受入れを行ってまいりましたが、医療面でも行動様式の変化などコロナ過の影響もあり残念ながらご多分に漏れず、以前と比べ少なからず運営面に影響が生じています。これは、太宰府病院においても同様の傾向ではあり、現在アフターコロナとは言えまだ厳しい環境は続いています。

また、今年は大きく注目される診療報酬・介護報酬の同時改定が 6 月に施行されますが、医師の働き方改革への対処もいよいよ具体的なものとなります。こうした中で医療の質の向上と病院組織の効率化を図る上でも医療 DX の取り組みを推進して行くことが求められます。

この様に大きく変化する環境の中で、急性期医療を守る中核病院として、地域の医療機関との連携を第一と考える「地域に親しまれ、信頼される病院を目指します」の基本理念のもと、引き続き地域の皆様から必要とされる医療の提供に取り組んでまいり所存です。

皆さまのより一層のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

末筆でございますが、本年が皆さまにとりまして良い年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

皆様明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

最初に、元日に発生した令和 6 年能登半島地震にて被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また 1 月 2 日には羽田空港で JAL の旅客機と被災地の支援に向かっていた海上保安庁の飛行機が衝突、炎上するという、あってはならない航空機事故が発生しました。JAL 機は客室乗務員と乗客の見事な連携で 379 名すべてが無事に脱出し、世界から称賛されました。普段から繰り返されてきた避難、誘導訓練が今回のような奇跡的な生還劇につながったと思われます。この 2 日間に起こった出来事で、我々医療人も日ごろから地震をはじめ、大雨、洪水、台風などの自然災害に備え、医療安全のため繰り返し教育、訓練を怠ってはならないと改めて認識しました。

さて 2020 年に始まった新型コロナウイルス感染症は 2023 年 5 月 8 日から 2 類から 5 類へと変更になりました。ひと頃の勢いはありませんが、まだくすぶり続けています。昨年暮れからインフルエンザ感染者は減少傾向ですが、新型コロナウイルス感染者は再び増加傾向にあります。ひどく恐れる必要はありませんが、マスクはいつも持参して、密な状況では着用するなど感染予防を心がけてください。ところで、コロナによって病院への受診行動が変化したといわれています。症状がひどくならないと受診しない、がん検診は延期する、などのいわゆる受診控えが起こっています。当院でも外来の患者さんがコロナ前より明ら

院長

於保 和彦



かに減っています。軽い症状の方が減っているのならよいのですが、受診すべき患者さんが受診を控えられていないかが心配です。がん検診受診率が 20% 以上減っているとの統計もあります。手遅れにならないように症状が 1 週間以上続くなら受診するように、またがん検診は予定通りに受けいていただくようお願いいたします。

2024 年はオリンピックイヤーです。パリで繰り広げられるアスリートたちの熱く感動的な熱戦が楽しみです。一方で、ウクライナやガザ地区での悲惨な戦いの一刻も早い収束を祈るばかりです。柳川病院では市民公開講座や病院祭りなどで市民の皆様と触れ合う機会を設けてきました。しかしコロナの影響でここ 3 年間開催できておりません。今年は必ず行う予定ですので、多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年も病院の理念である“親しまれ信頼される病院”を目指し、地域の急性期医療の要として職員一丸となって努力してまいりますので、どうかご支援のほどをよろしくお願いいたします。本年が皆様にとって素晴らしい 1 年になりますことを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



YANAGAWA HOSPITAL

部署紹介 手術室



手術室について

柳川病院手術室では、外科・整形外科・皮膚科・心臓血管外科・婦人科・泌尿器科・脳神経外科などの手術を年間 900 件ほど行っています。

手術室では、手術を受ける患者さんに対して、術前・術後訪問を行っています。

担当看護師が術前に患者さんのもとへ行き、説明などを行います。その中で「手術・麻酔をするのが初めて」などの精神的不安や身体的変化に対する不安など出来る限り取り除くよう看護師が情報提供をしたり、患者さんの全身状態を把握することで、手術室入室から手術中の看護へ繋がっています。術後は、手術後の痛みの把握や、術中体位などによる障害の有無を確認し、行った看護を評価することで、よりよい看護実践へと繋がっています。手術の術前・術後訪問は、患者さんの不安や苦痛の軽減目的でもあるため気を使うことなく、気持ちの表出を行ってほしいと思っています。

また、麻酔科の常勤医師も術前・術後訪問を行っております。麻酔に対する不安や要望があればご相談して頂けたらと思います。

今年度より、患者さんにより良い手術看護が提供できるよう、安全チェックリストを用いた安全管理や、術後回復を促進できるよう、術前からのベッドの保温に努め、体温低下を予防する取り組みに力を入れています。

また、術前の飲水制限も経口補水療法（ERAS）を取り入れ緩和されています。

術前から術後までよりよい看護が提供できるよう、また「柳川病院で手術してよかった」と思ってもらえるような安心・安全な環境作りを行ってまいります。

手術件数も毎年増加しており、忙しいながらやりがいのある仕事をさせて頂いております。手術室に興味のある看護師の方、経験者の方いらっしゃいましたら柳川病院にお問い合わせ下さい。



寒い冬を乗り切ろう!!



空気が乾燥し寒くなる冬の時期は、インフルエンザをはじめ風邪など病気にかかりやすい季節で体調を崩しやすいので健康管理が重要です。



1. 知っておきたい体を温める食べ物・冷やす食べ物

2. 免疫力や抵抗力を高める食べ方

体を温める食べ物 (冬が旬の食材、暖色系、発酵食品)

- ・冬 が 旬：野菜…タマネギ、蕪、南瓜、生姜、自然薯、長ネギ、ニラ、ごぼうなど
- ・黒っぽい物：黒豆、ひじき、紅茶など
- ・暖色系の物：海老、赤身肉、紅鮭、卵、小豆など
- ・発酵食品：納豆、キムチ、チーズなど
- ・そ の 他：炭水化物…玄米、黒米、そば、全粒粉パンなど
肉…牛肉、豚肉、鶏肉



体を冷やす食べ物 (夏が旬、寒色系、水分が多い)

- ・夏 が 旬：きゅうり、スイカ、トマト、バナナなど
- ・寒 色 系：牛乳、バター、ヨーグルト、アイスクリームなど
- ・そ の 他：果物…梨、スイカ、メロン、パイナップルなど



免疫力や抵抗力を高める食べ方（五大栄養素）

「たんぱく質」「脂質」「炭水化物（糖質、食物繊維）」「ビタミン」「ミネラル」と言われる五大栄養素。

● たんぱく質・・・身体の筋力、体力をつける。（肉・魚・卵・豆腐など）

1. 免疫細胞の原料：病原体を殺菌し、抗体をつくってくれる。

食事バランスが偏り、免疫が下がり感染症のリスクが高まるので注意しましょう。

特に高齢者は免疫力が下がりやすいので、たんぱく質を摂るように心がけましょう。

2. 体温を上げてくれる

体温の維持、上昇に必要なのは、筋力を増やし維持することです。

活動量（ウォーキング、筋トレなど）を継続して取り組むことも大事です。

たんぱく質



脂質



糖質



ビタミン



ミネラル



● 脂質・糖質・・・エネルギー源（脂質：油類）

（炭水化物：ご飯・パン・麺類）

体温の維持・エネルギーの源となります。

炭水化物が不足してしまうと、必要なエネルギーを得るために筋肉が分解されてしまうため、筋肉維持のためには炭水化物も必要な栄養素になります。

● 身体の調子を整える「ビタミン」「ミネラル」

体内でタンパク質、脂質、糖質を効率的に利用できるように助ける働きがあります。

ビタミンは野菜や果物に多く含まれています。

ミネラルは、カルシウム、鉄、ナトリウムなど 16 種類あり、野菜、果物、海藻、乳・乳製品に多く含まれます。



みどり

翠の会紹介

副看護師長：高口 直美



柳川病院では、糖尿病に罹患された患者さんやそのご家族・医師・看護師・理学療法士・栄養士などで発足された『翠の会』という患者会があります。そもそも、患者会？って何をされるのと思われるかと思いますが、糖尿病の知識を学んだりすることだけではなく患者さん同士の交流を深めたり、お互いの悩みや不安などを共有し糖尿病と上手く付き合っていき、合併症予防に努めていくことを目的として活動を行っています。以前は、患者会の会員者数も多く、バスハイクなども行っていましたが、高齢化が進み家族の送迎が必要になったり、他の疾患に罹患するなどの理由で会員数が減ってしまった状況です。そのため今年度は、当院へ通院されている患者さんだけではなく、他施設や病院へ糖尿病患者会「翠の会」を周知し11月には糖尿病内科の永山先生より「糖尿病について」講演を行っていただきました。その他、色々なレクリエーションやフットケアなどの活動も行いました。2月には栄養士より食事に関するイベントを予定しております。引き続き皆さんと活動を共に楽しんで行えるような計画を考えています。どうぞご興味のある方は病院スタッフへお尋ねください。



「職員子どもの職場見学会」を実施しました！！

副看護部長 佐藤 由佳

子ども達の夏休みを利用して、2023.8.18（金）第1回「職員子どもの職場見学会」を実施しました。
①親が働く職場を子どもに知ってもらう ②医療に対する興味を高めることを目的に初の開催です。
COVID-19 が猛威を振るう中の開催になりましたので、子ども達の体調管理には慎重になり、合計24名の小学1年生から高校3年生の参加となりました。医師・看護師・リハビリスタッフ・クラークスタッフの子どもさんが参加してくれました。早朝、会場にきてくれた子ども達はやや緊張した様子でしたが、白衣制服に着替えると笑顔が出て、うれしそうに自分の姿を鏡で眺めていました。貝原副院長のお話を聞き、井上看護部長から病院紹介が終わったら、早速、病院見学です。院内いろいろな部署を回り、いつもは見れない場所、風景を興味津々に見て、感じてくれていました。そして待ちに待った親のもとへ！！家で見るお父さん、お母さんとはちょっと違った姿を見て、うれしそうな、恥ずかしそうな様子でそれぞれの親のそばで見学していました。それでもやっぱり子ども！！お昼近くなると「お腹すいた～」と言い出しました。昼食は病院食を体験しました。「おいしい～」とたくさんおかわりしました。お昼休みは、仲良くなったお友達とわいわいがやがやの賑わいです。お昼は心臓血管外科土井先生のお楽しみ授業。最後に一日の感想をまとめ終了しました。子ども達に、家に帰ったら今日の出来事を話して、お父さん、お母さんかっこよかったよーって魔法の言葉をかけて下さいと約束しましたが、本当に親だけでなく他の職員も元気をもらった一日でした。協力してくれた職員皆さんに感謝します。



着任医師紹介



内科

あおき ゆうすけ
青木 佑介

出身地：福岡県 北九州市

久留米大学消化器内科の青木と申します。
柳川地区の地域医療に貢献できるよう努めてまいります。
よろしくお願い致します。

当院では、患者さんのスマートフォン・タブレット・パソコンなどで、**無料で雑誌・マンガなどをお読みいただけるサービス**を開始しました。
待ち時間などにぜひご利用下さい。

- 病院内の Wi-Fi サービスに、お手持ちのスマートフォンやタブレットを接続してご利用下さい。
- 病院の外ではご利用できません。



ご利用
方法

step
1

病院内の Wi-Fi に接続

お手持ちのスマートフォンやタブレットを
病院内の Wi-Fi に接続してください。

step
2

QRコードにアクセス

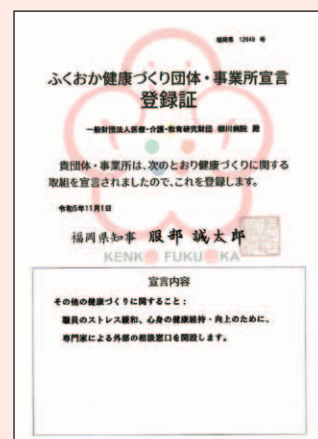
QRコードが読めない場合はこちら
<https://spot.viewn.co.jp>



当院は
「**ふくおか健康づくり
団体・事業所宣言**」に
登録しました。

【宣言内容】

職員のストレス緩和、心身の健康維持・向上のために、
専門家による外部の相談窓口を開設します。



外来診療担当医一覧表

2024年1月1日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30～11:00
午後 14:00～16:00 [血液内科 (月・木)]
13:30～16:00 [脳神経外科 (金)]
13:30～15:30 [産婦人科 (水)]

※急患については、この限りではありません。

※都合により診察日・時間が変更になる場合がございます。確認のうえ来院ください。
※お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。
※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表			月	火	水	木	金	土
内科 消化器内科	午前	新患	於保 和彦	大田 諭	大野 美紀	菅 偉哉	青木 佑介	担当医 (急患のみ)
		再来	菅 偉哉	菅 偉哉	於保 和彦	大田 諭	於保 和彦	
			青木 佑介	大野 美紀	青木 佑介		大野 美紀	
血液内科	午後		大屋 周期			高木 友輔		
肝臓外来 (第2・3土曜日)	午前	(下記※1参照)						佐野 有哉
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保 和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来			梶島 正治		永山 綾子	廣松 雄治 (予約制)
	午後	再来(予約)			梶島 正治		永山 綾子	
循環器内科	午前	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医 (急患のみ)
		再来		青木 浩樹	松本 徳昭	吉岡 励	坂井 智咲子	
心臓血管外科	午前		土井 一義			土井 一義		
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	大地 貴史	貝原 淳	貝原 淳	的野 吾	担当医
		再来		瀬戸島 翔	的野 吾		大地 貴史	
整形外科	午前	新患(予約)	担当医	野崎 修	溝田 将吾	担当医	野崎 修 (第1.3.5)	野崎 修 (第2.4) 溝田 将吾 (第1.3.5)
		再来	溝田 将吾			野崎 修	溝田 将吾 (第2.4)	
産婦人科	午前	新患・再来	大田 俊一郎	大田 俊一郎		大田 俊一郎	大田 俊一郎	久留米大学医師 大田 俊一郎 (第2.4)
	午後	新患・再来			寺田 貴武			
皮膚科	午前		辛島 正志	辛島 正志	休 診	辛島 正志	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前	新患・再来	濱口 益光	休 診	濱口 益光	植田 浩介	濱口 益光	西原 聖顕
脳神経外科	午前	新患・再来	岡本 浩昌	岡本 浩昌	岡本 浩昌	休 診	岡本 浩昌	休 診(第1) 急患のみ(第2.3.4.5)
	午後	新患・再来					緒方 敦之	
健診センター	午前		喜多 奈穂	喜多 奈穂	岩本 元一	喜多 奈穂	喜多 奈穂	

検査担当医表			月	火	水	木	金	土
放射線科	午後				小金丸 雅道			
専門エコー外来	午後						黒松 亮子	
内視鏡検査	(下記※2参照)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		向笠 道太	池原 龍一郎	城野 智毅	渡辺 靖友			

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

柳川病院 患者会

柳川病院では、病院スタッフ(医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士)&柳川病院に通われている患者さんと「翠の会」という患者会を立ち上げています。

～翠(みどり)の会の募集案内～

【会 員】 60～80代の10名程度の方が在籍中
【活動内容】 勉強会や料理教室、情報交換会、ウォーキング大会等。患者さんが日頃困っていることや悩み事の相談窓口ともなっています。また、会員の方は、月刊「糖尿病ライフさかえ」を毎月無料で読むことができます。
【年 会 費】 3,600円(年度の途中入会の方…月払いとなります)

糖尿病の患者さん、糖尿病に関心のある人、どなたでも入会することができます。

【参加希望の方】

柳川病院 翠の会事務局

TEL 0944-72-6171

皆さまのご入会お待ちしております! (森)まで